

ワークショップ① 8/6 (木) 13:00~13:50

## VRゴーグルで地震後の森を探索しよう

橋本 朝陽

北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場・研究職員

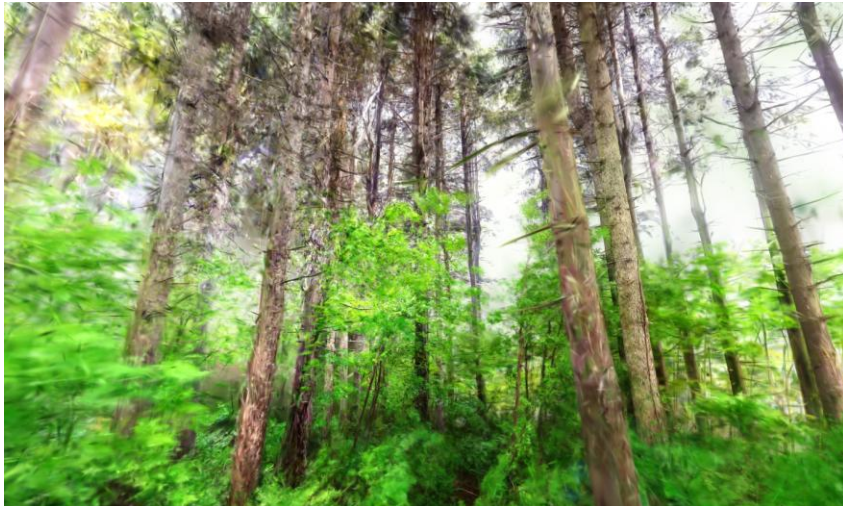


### 実施内容

実際の被災地を見学することは、安全性・コストの観点から実現が難しいため、VRゴーグルを利用した調査地域の見学会を行う予定である。ただ単に映像をVRゴーグルに投影するだけでなく、「3DGS」という技術を用いることで、体験者が自分の意志で被災地域を散策できるようにする。

本研究は特に土壌侵食に焦点を当てており、崩壊地斜面においては侵食地形の発達が非常に明瞭である。侵食プロセスを理解してもらうことは、自然科学に対する理解を深めることにつながる。

また、研究フィールドの見学だけでなく、被災地の現状や崩壊地に起こる土壌流亡・水涵養機能の低下に関するトークも交えることで、さらなる研究内容の理解促進を図る予定である。



### 研究テーマ

崩壊地斜面における面状土壌侵食が植生回復に及ぼす影響の解明（2025年度）

### 概要

2018年9月に発生した胆振東部地震によって、多くの森林が地滑りによって消失した。発災から8年近くが経った現在においても、植生回復が進んでいない地域が多数存在する。本研究では土壌侵食の一つである面状土壌侵食に着目し、植生回復がどれほど阻害されているかを定量的に明らかにした。

### PROFILE

<https://researchmap.jp/hashimoto-asahi>